

## 「広域合併問題」について



浜田 等議員

## 祁答院地区

## 四町合併が基本

浜田 等議員 町長は、かねての会合等で合併問題にふれ、「四町合併が基本、最後まで諦めない」と言っている。祁答院町は既に住民投票が終わり、川西薩法定協への財政負担に係る予算措置等も決定し、合併への取り組みが着実に進められているが、四町合併実現の可能性はあるのか。また、町民は、町長の発言を信頼し、広域合併(四く五町)市制施行を望み、町長の働きに大きな期待を寄せていると思うが、これに応える策は。

北村町長 町の広域合併については、すでに宮之城・鶴田・薩摩町でもって合併協議会を設置し、平成十七年一月合併を目

途に、現在その作業は順調に進んでいる。祁答院町は、川西薩合併法定協に加入されているが、祁答院町の住民のなかには、生活環境上の問題や日常生活上の観点から、大変心配をされている方がおられると伺っている。長い歴史のなかで培われてきた産業、文化のつながり、行政、各種団体等の連携上の経緯からみても、四町は常に一緒といったところ。したがって、今回の合併は「四町合併が基本」、そのためにはあらゆる手段を尽くし、祁答院町がこちらに向いてい

ただくことを望んでいる。合併決議をするまで諦め  
そして、祁答院町議会が、  
ない。

「中心市街地活性化」、  
土地区画整理事業について

浜田議員 本町の中心市街地活性化事業のなかで、最大のハード事業である  
国道三二八号の市街地部  
拡幅改良に併せて、実施  
されようとする土地区画



国道三二八号沿いの中心市街地(屋地)

整理事業

について  
は、す  
にまちづ  
くり基本  
調査が平  
成十三年  
度に終了  
し、平成  
十六年度  
には基本  
構想調査  
平成十八  
年度には  
事業着手  
という計  
画であつ  
たが、順  
調に進展  
するの

また、総体事業費と町の負担など財政計画は、さらに、町の合併に係る新町建設計画への位置づけは。

## 土地区画整理事業

十一億で

約一一〇億円

町長 土地区画整理事業推進に係る関係地域、関係者の合意形成等については、TMOによって精力的に進められている。虎居地区と屋地地区の進展状況に、だいぶ温度差があるようであるが、関係者の努力を期待したい。基本構想調査(B調査)は十七年・十八年度を予定しているが、着手が少し遅れるのでは。また、総体事業費は、十一億で約一一〇億円を見込んでいます。合併に係る新町建設計画への位置づけは、大きな柱として位置づけたい。